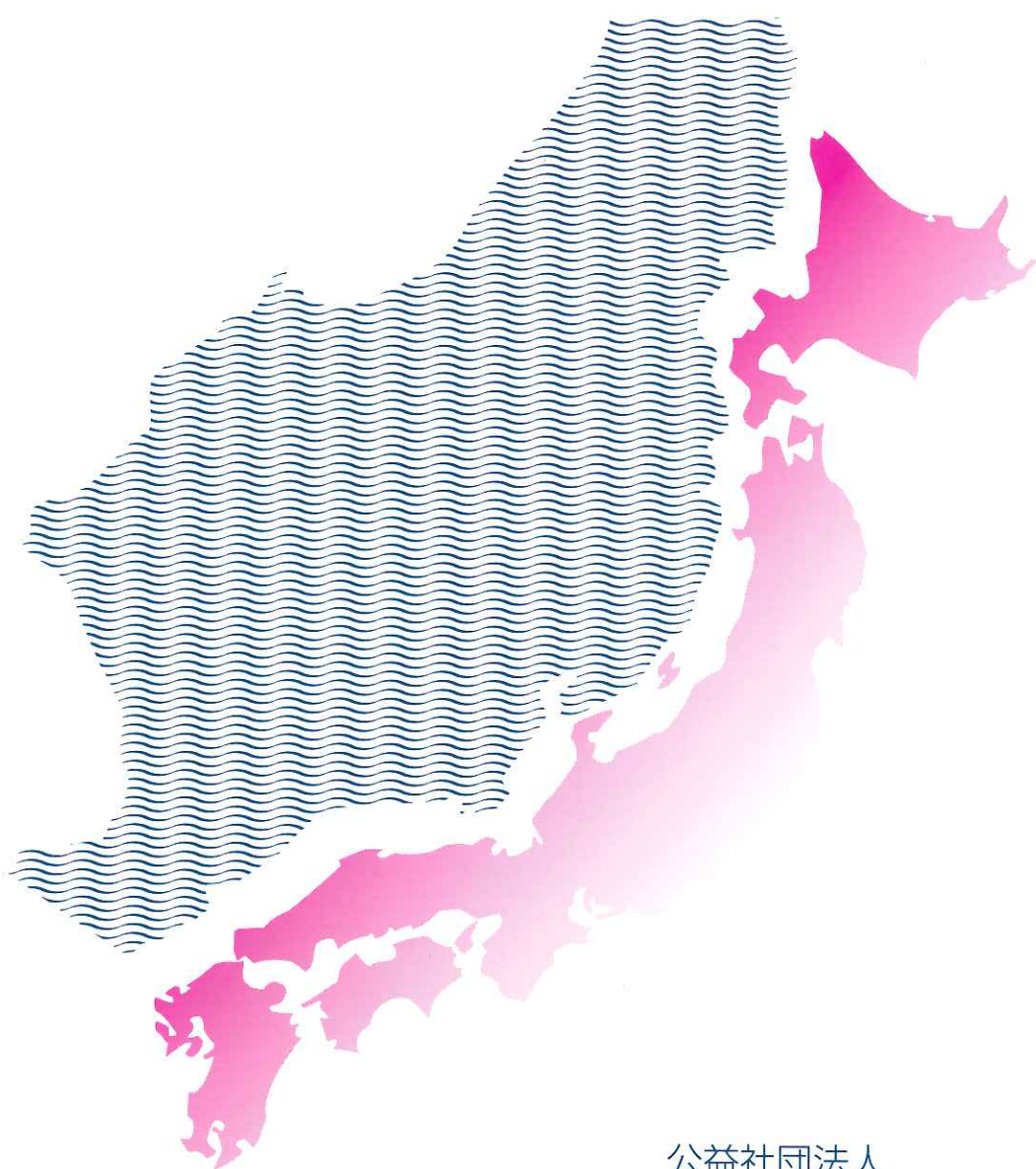


# 会報

第122号



公益社団法人  
日本海海難防止協会

# 目 次

## I 事業報告

I-1	調査研究	1
1	青森港大型客船入出港に係る航行安全調査	1
1-1	第2回委員会	1
1-2	ビジュアル操船実験	2
1-3	作業部会	2
2	18万m <sup>3</sup> 級モス型LNG運搬船の直江津港入出港に係る調整会議	3
2-1	第2回調整会議	3
3	秋田港火力発電所(仮称)建設計画に係る航行安全調査	4
3-1	ビジュアル操船実験	4
3-2	第2回委員会	4
4	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査	5
4-1	第1回作業部会	5
4-2	第2回委員会	5
4-3	ビジュアル操船実験	6
4-4	第2回作業部会	6
5	伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査	7
5-1	ビジュアル操船実験	7
5-2	作業部会	7
6	金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査	8
6-1	第1回委員会	8
6-2	ビジュアル操船実験	8
7	秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査	9
7-1	第1回委員会	9
8	舞鶴港第2ふ頭地区岸壁(-10m)仮設物設置に係る航行安全対策検討	10
8-1	第1回委員会	10
9	舞鶴港第2ふ頭3、4号岸壁大型客船入出港に係る航行安全調査	11
9-1	第1回委員会	11

## II 会務報告

II-1 業務日誌抄..... 12

II-2 業務予定..... 13

## III 寄稿欄

舞鶴の神様たち（高倉神社）..... 14

## IV 連絡事項

☆ 会員名簿の変更..... 18

日本海海難防止協会は、本州日本海沿岸(山口県を除く)及び付近水域における、海上交通の安全に寄与するため、次の事業を行っております。

- (1) 船舶の航行安全及び海難防止に関する事項の調査研究
- (2) 船舶の航行安全に関する教育指導及び情報の提供
- (3) 海難防止に関する事項の周知宣伝
- (4) その他本協会の目的を達成するために必要な事業



【公益社団法人 日本海海難防止協会が行う事業区域図】

### アクセス

○新潟駅(JR 信越線)から

徒歩 約 25 分、タクシー利用 約 10 分、  
バス利用 新潟交通 北ふ頭 約 20 分

北ふ頭 停留所下車徒歩約 5 分

○新潟空港から

タクシー利用 約 20 分、バス利用 北ふ頭 約 20 分

○車

国道 113 号線竜が島郵便局前交差点を左折直進、  
信号を一つ通過後右折し約 50m



---

# I 事業報告

---

## I-1 調査研究

### 1 青森港大型客船入出港に係る航行安全調査

#### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授  
池田 英治 海上保安大学校 名誉教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
成田 公美 青森港水先人会 水先人  
千葉 康貴 日本通運株式会社 青森支店青森中央事業所  
海運・倉庫グループ 係長

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部  
青森海上保安部  
東北地方整備局 港湾空港部  
東北地方整備局 青森港湾事務所  
青森地方気象台

#### 1-1 第2回委員会

- (1) 開催日：平成29年9月5日(火)
- (2) 場所：青森市 青森国際ホテル
- (3) 議題：
  - ① 第1回委員会の質疑への対応について
  - ② 航行環境について
  - ③ 操船の安全性検討について  
(ビジュアル操船実験方案)

## 1-2 ビジュアル操船実験

- (1) 実施日：平成29年9月26日(火)～27日(水)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

## 1-3 作業部会

- (1) 開催日：平成29年12月8日(金)
- (2) 場所：青森市 青森国際ホテル
- (3) 議題：
  - ① 第2回委員会の質疑への対応について
  - ② 操船の安全性(ビジュアル操船実験結果)について
  - ③ 係留の安全性の検討について
  - ④ 航行安全対策案について

## 2 18万<sup>3</sup>級モス型LNG運搬船の直江津港入出港に係る調整会議

### 調整会議の構成

(順不同・敬称略)

「水先人」
小坂 徳夫 新潟水先区水先人会 会長
「海事有識者」
(議長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授
高橋 勝 海上保安大学校 名誉教授
森山 和基 一般社団法人日本船長協会 常務理事
伊藤 則彦 日本海曳船株式会社 常務取締役
「関係官公庁」
第九管区海上保安本部 交通部
上越海上保安部

#### 2-1 第2回調整会議

- (1) 開催日：平成29年9月14日(木)
- (2) 場所：新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟
- (3) 議題：
  - ① ビジュアル操船実験結果について
  - ② 入出港操船の安全性について
  - ③ 報告書構成案について

### 3 秋田港火力発電所(仮称)建設計画に係る航行安全調査

#### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

##### 「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授  
池田 英治 海上保安大学校 名誉教授  
岡崎 忠胤 東京海洋大学大学院 教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
野村 治彦 秋田船川水先区水先人会 水先人  
西宮 公平 秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長  
柏屋 敬 日本通運株式会社 秋田港支店 支店長  
西宮 公平 秋田曳船株式会社 代表取締役社長  
大槻健太郎 東北電力株式会社 秋田火力発電所 所長  
藤田 博英 秋田県漁業協同組合 代表理事組合長

##### 「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部  
秋田海上保安部  
東北地方整備局 港湾空港部  
東北地方整備局 秋田港湾事務所  
秋田地方气象台  
秋田県 建設部港湾空港課  
秋田県 秋田港湾事務所

#### 3-1 ビジュアル操船実験

- (1) 実施日：平成29年10月2日(月)～3日(火)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

#### 3-2 第2回委員会

- (1) 開催日：平成29年11月29日(水)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
  - ① 第1回委員会の質疑への対応について
  - ② 操船の安全性について (ビジュアル操船実験結果)
  - ③ 係留の安全性について (船体動揺シミュレーション結果)
  - ④ 航行安全対策について
  - ⑤ 報告書構成案について



## 4 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授  
池田 英治 海上保安大学校 名誉教授  
岡崎 忠胤 東京海洋大学大学院 教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
高橋 福治 秋田船川水先区水先人会 会長  
西宮 公平 秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長  
柏屋 敬 日本通運株式会社 秋田港支店 支店長  
西宮 公平 秋田曳船株式会社 代表取締役社長

#### 「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部  
秋田海上保安部  
東北地方整備局 港湾空港部  
東北地方整備局 秋田港湾事務所  
秋田地方気象台

### 4-1 第1回作業部会

- (1) 開催日：平成29年9月21日(木)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
  - ① 第1回委員会の質疑への対応について
  - ② 航行環境について
  - ③ 操船の安全性検討について（ビジュアル操船実験方案）

### 4-2 第2回委員会

- (1) 開催日：平成29年10月12日(木)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
  - ① 航行環境について
  - ② 操船の安全性検討(ビジュアル操船実験方案)について

#### 4-3 ビジュアル操船実験

- (1) 実施日：平成29年11月6日(月)～7日(火)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

#### 4-4 第2回作業部会

- (1) 開催日：平成29年12月14日(木)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
  - ① 操船の安全性(ビジュアル操船実験結果)について
  - ② 係留の安全性の検討について
  - ③ 航行安全対策案について

## 5 伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 日當 博喜 海上保安大学校 名誉教授  
遠藤 真 富山高等専門学校 名誉教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
神田 修二 伏木水先区水先人会 会長  
川西 邦夫 伏木海陸運送株式会社 代表取締役社長  
久保啓二郎 北陸海事株式会社 取締役

#### 「関係官公庁」

第九管区海上保安本部 交通部  
伏木海上保安部  
北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

### 5-1 ビジュアル操船実験

- (1) 実施日：平成29年10月18日(水)～19日(木)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

### 5-2 作業部会

- (1) 開催日：平成29年12月11日(月)
- (2) 場所：富山市 北日本スクエアビル北館 企業局会議室
- (3) 議題：
  - ① 第1回委員会の質疑への対応について
  - ② 操船の安全性(ビジュアル操船実験結果)について
  - ③ 係留の安全性について
  - ④ 航行安全対策案について

## 6 金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授  
日當 博喜 海上保安大学校 名誉教授  
葛西 弘樹 一般社団法人日本船長協会 会長  
木下 博 七尾水先区水先人会 会長  
小山 幸司 株式会社金沢港運 海務部長

#### 「関係官公庁」

第九管区海上保安本部 交通部  
金沢海上保安部  
北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所  
金沢地方気象台

### 6-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成29年11月10日(金)
- (2) 場所：金沢市 ホテル日航金沢
- (3) 議題：
  - ① 大型クルーズ客船の入港計画について
  - ② 調査・検討の計画(案)について
  - ③ 金沢港の現況について
  - ④ 航行環境について
  - ⑤ 操船に係る基礎検討について
  - ⑥ 操船の安全性の検討について  
(ビジュアル操船実験方案)

### 6-2 ビジュアル操船実験

- (1) 実施日：平成29年12月5日(火)～6日(水)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

## 7 秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 東京海洋大学 名誉教授  
池田 英治 海上保安大学校 名誉教授  
岡崎 忠胤 東京海洋大学大学院 教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
高橋 福治 秋田船川水先区水先人会 会長  
西宮 公平 秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長  
柏屋 敬 日本通運株式会社 秋田港支店 支店長  
西宮 公平 秋田曳船株式会社 代表取締役社長  
大槻健太郎 東北電力株式会社秋田火力発電所 所長  
藤田 博英 秋田県漁業協同組合 代表理事組合長

#### 「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部  
秋田海上保安部  
東北地方整備局 港湾空港部  
東北地方整備局 秋田港湾事務所  
秋田地方气象台

### 7-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成29年12月15日(金)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
  - ① 港湾計画改訂計画案について
  - ② 調査・検討の計画(案)について
  - ③ 秋田港の現況について
  - ④ 航行環境について

## 8 舞鶴港第2ふ頭地区岸壁(-10m)仮設物設置に係る航行安全対策検討

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 寺本 定美 海上保安大学校 名誉教授  
遠藤 真 富山高等専門学校 名誉教授  
久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長  
上野 善洸 舞鶴水先区水先人会 会長  
田端 昭則 飯野港運株式会社 常務取締役  
沼田 重昭 舞鶴倉庫株式会社 取締役社長  
小東 雅幸 日本通運株式会社 舞鶴海運支店長  
原 正朗 ジャパンマリンユナイテッド株式会社  
舞鶴事業所 ドックマスター  
近江 喜彦 新日本海フェリー株式会社 舞鶴支店長  
鍵本 房男 舞鶴曳船株式会社 代表取締役  
西川順之輔 京都府漁業協同組合 代表理事組合長  
山田 悦子 京都府小型船安全協会 事務局長

#### 「関係官公庁」

第八管区海上保安本部 交通部  
舞鶴海上保安部  
京都地方气象台  
海上自衛隊 舞鶴地方総監部  
京都府 港湾局  
舞鶴市 産業振興部

### 8-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成29年12月19日(火)
- (2) 場所：舞鶴市 舞鶴グランドホテル
- (3) 議題：
  - ① 仮設物設置計画案について
  - ② 調査・検討の計画(案)について
  - ③ 舞鶴港の現況について

## 9 舞鶴港第2ふ頭3、4号岸壁大型客船入出港に係る航行安全調査

### 委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」	
(委員長)	寺本 定美 海上保安大学校 名誉教授
	遠藤 真 富山高等専門学校 名誉教授
	久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長
	上野 善洸 舞鶴水先区水先人会 会長
	河地 俊行 舞鶴水先区水先人会 副会長
「関係官公庁」	
	第八管区海上保安本部 交通部
	舞鶴海上保安部
	近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所

#### 9-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成29年12月19日(火)
- (2) 場所：舞鶴市 舞鶴グランドホテル
- (3) 議題：
  - ① 第2ふ頭地区の仮設物計画について
  - ② 調査・検討の計画(案)について
  - ③ 舞鶴港の現況について
  - ④ 操船シミュレーションによる検討について

## Ⅱ 会 務 報 告

### Ⅱ－１ 業務日誌抄

月 日	内 容	
9月 5日(火)	青森港大型客船入出港に係る航行安全調査 第2回委員会	(青森市)
9月14日(木)	18万m <sup>3</sup> 級モス型LNG運搬船の直江津港入出港に係る調整会議 第2回調整会議	(新潟市)
9月21日(木)	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第1回作業部会	(秋田市)
9月26日(火) ～27日(水)	青森港大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験	(東京都)
10月 2日(月) ～ 3日(火)	秋田港火力発電所(仮称)建設計画に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験	(東京都)
10月12日(木)	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第2回委員会	(秋田市)
10月18日(水) ～19日(木)	伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験	(東京都)
11月 6日(月) ～ 7日(火)	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験	(東京都)
11月10日(金)	金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査 第1回委員会	(金沢市)
11月21日(火) ～22日(水)	平成29年度全国海難防止団体等連絡調整会議	(東京都)
11月29日(水)	秋田港火力発電所(仮称)建設計画に係る航行安全調査 第2回委員会	(秋田市)
12月 5日(火) ～ 6日(水)	金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験	(東京都)
12月 8日(金)	青森港大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会	(青森市)
12月11日(月)	伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会	(富山市)
12月14日(木)	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第2回作業部会	(秋田市)



月 日	内 容
12月15日(金)	秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査 第1回委員会 (秋田市)
12月19日(火)	舞鶴港第2ふ頭地区岸壁(-10m)仮設物設置に係る航行安全対策検討 第1回委員会 (舞鶴市)
12月19日(火)	舞鶴港第2ふ頭3、4号岸壁大型客船入出港に係る航行安全調査 第1回委員会 (舞鶴市)

## Ⅱ－２ 業務予定

- (1) 舞鶴港第2ふ頭地区岸壁(-10m)仮設物設置に係る航行安全対策検討  
第2回委員会 平成30年 1月11日
- (2) 青森港大型客船入出港に係る航行安全調査 第3回委員会 平成30年 1月17日
- (3) 伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査  
第2回委員会 平成30年 1月24日
- (4) 金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会 平成30年 1月25日
- (5) 舞鶴港第2ふ頭地区岸壁(-10m)仮設物設置に係る航行安全対策検討  
第3回委員会 平成30年 2月 2日
- (6) 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第3回委員会 平成30年 2月 7日
- (7) 金沢港大型客船入出港に係る航行安全調査 第2回委員会 平成30年 2月23日
- (8) 舞鶴港第2ふ頭3、4号岸壁大型客船入出港に係る航行安全調査  
ビジュアル操船実験 平成30年 3月 1日  
～ 2日
- (9) 平成29年度 第3回理事会 平成30年 3月 2日
- (10) 日本海中部海域における簡易型AIS普及に関する調査研究  
(富山・石川県地区)第2回委員会 平成30年 3月 6日
- (11) 秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査 第2回委員会 平成30年 3月13日
- (12) 平成30年度第1回理事会 平成30年 5月 中旬
- (13) 会報第123号発行 平成30年 5月 下旬
- (14) 平成30年度通常総会 平成30年 6月 上旬

---

## Ⅲ 寄稿欄

---

### 舞鶴の神様たち（高倉神社）

元舞鶴事務所長 山本勝眞

すでにご承知かと思いますが、海上保安庁には、海上保安学校という教育機関がありまして、現在600人以上の海上保安官を目指す学生たちが、日々、教育・訓練に励んでいます。その海上保安学校は、舞鶴市長浜という、風光明媚で市街地の喧騒から離れた、静かな環境の中にあります。

海上保安学校ともっとも近い場所、つまり舞鶴の市街地のはずれになる場所に、今回取り上げさせていただき高倉神社は鎮座されています。

神社へのアプローチは、国道27号線の中舞鶴交差点三叉路を北西方に折れ、府道565号線を約7百メートル走ったところの三叉路を右折。

さらに約7百メートルいくと、突き当りの左側というところになります。

山の名はわかりませんが、後ろに高い山があり、その北東の山裾際に鎮座されています。

筆者も50年前に、この学校を皮切りに海上保安官となり、またその後も通算7、8年の学校勤務をいたしましたので、この高倉神社は、ある意味舞鶴の神様の中では一番身近に感じられる神社かもしれません。



本地図は「地理院地図(GSI Maps)」から編集。

学生時代は、学校から町へでるとき、また学校職員の時は通勤の途中に、必ずこの神社の前を通っていましたが、神社の存在は言うまでもなくよく知っていましたが、実をいうと身近過ぎて、詳細なことはこれまでよく承知していませんでした。

今回、高倉神社を取り上げさせていただくということで、高倉神社氏子総代会会長佐藤氏に話を聞いたり、10月14日には境内の奥深くまで立ち入らせていただきました。神社名は「高倉八幡宮」とあります。

鳥居は、石の鳥居で明神型のりっぱなもので、「高倉神社」という掲額がかけられています。

佐藤さんをはじめ、氏子の方々がよほど大切にしておられるらしく、建物の朱は鮮やかで、境内社などほかの建物などもよく手入れされています。

御祭神は、八幡様ですから、日本の三大八幡宮、大分の宇佐神宮、福岡の筥崎八幡宮、京都石清水八幡宮と同一の神様です。

八幡宮の神様は、応神天皇と同一神とされており、弓矢をとる武人の神様ということになっています。私の故郷、島根の石見地方を中心とした、各地の集落に伝わる石見神楽の演目のなかにも「八幡」というのがあって、その口上に「自らは、豊前の国宇佐の宮にあらわれたる八幡麻呂という神也。」というのがあります。

演目は、武神八幡様が、外来の鬼人を弓矢で退治するというストーリーです。



応神天皇

応神天皇は、諡号を「ほむたわけのみこと誉田別尊」と称されます。

高倉神社の主祭神はこの神様です。

ほかに二柱の神様が合祀されていて、その一方は「あめのこやねのみこと天児屋根命」、もう一方は「菅原道真公」です。

天児屋根命は、日向族の武神で、出雲の国譲りの際に、抵抗した「たけみなかたのみこと建御名方命」を追放した神の一方で、奈良の春日大社に春日三神の御一方として祀られておられます。

菅原道真公は、天神様とも呼ばれていますね。政敵藤原時平の陰謀により京を追われ、筑前大宰府に左遷された悲劇の官僚として有名です。

「東風吹かば匂いをこせよ梅の花、主なきとて春なわすれそ。」という歌はあまりにも有名ですね。

ちなみに建御名方命は、長野の諏訪大社の御祭神です。

応神天皇についてのお話ですが、天皇は15代天皇で、仲哀天皇と、三韓征伐物語の主人公「神功皇后」のお子様であります。仲哀天皇は、三韓征伐の途上九州でお亡くなりになり、お後の神功皇后が三韓征伐に行かれて帰国後に九州で応神天皇をお産みになった。遠征のさなか、中央では仲哀天皇の後継を巡っての争いごとがあり、神功皇后の御子は、後継者として認められないという動きがありました。このことから、御子とともに大和に凱旋することができず、福井県敦賀市の気比にとどまって機を待った（他説として紀伊地方というのもあります。）というものです。お仲哀天皇がなくなられて、時がたってからお生まれなったから「天皇のお子ではないのでは？」との疑いがあった、という言い伝えもあります。不敬な話をして申し訳ありません。



神功皇后と、皇后の脇で赤ん坊を抱いて控えている老人の絵があります。この絵をご覧になったことがある方もいらっしゃると思いますが、あの赤ん坊が応神天皇であります。

ちなみに老人は「たけのうちのすくね武内宿禰」という忠臣で、昔の一円札紙幣にその肖像が印刷されていました。

このあたりの話は、古事記・日本書紀の中で、九州から反乱軍を制圧しながら大和に凱旋するという、大変勇ましい物語になっていますが、この稿ではマイナーな説をとって紹介しました。

御祭神の話が、少ししつこくなりました。

高倉神社に目を戻しましょう。

境内に、稲荷神社しわすぐりじんじゃと十二栗神社の二社が祀って

あります。

稲荷神社は、以前にもたびたび触れましたが、

「うかのみたま宇迦御魂」つまり保食うけもちのかみ神ですが、一緒に  
おおやまずみ大山祇の神、日本武命やまとたけるのみことが合祀されています。

十二栗神社は、五穀豊穰の神様で、この神社の  
いわれについて「丹後風土記」に「昔、わかむすび稚産霊の

神様がこの地に生花（栗の木）をお植えになった。成長した木は、毎年十二月一日に花を咲かせ、二十日に実を結んだので、収穫して元旦にその実を大神に備えた。（訳）」と記されているそうです。



十二栗神社



鞍掛石

また境内に、しめ縄を張られた1メートルぐらいの大きな石がおいてあり、神石として祀られていました。「くらがけいし鞍掛石」ともいうらしいです。

名前の由来は、言い伝えの中に、主祭神が、この石に鞍をかけ馬上姿になって、武人の練武を鼓舞せられたとあります。

高倉神社のお神輿は、大変立派で大きなもので十月中旬の秋の大祭でお出ましになり、中舞鶴の市街地を7時間近くも巡行されます。高倉神社氏子総代会会長佐藤氏によると、地元住民の若者が少なくなった現在、担ぎ手として海上保安学校の学生が動員されているとのことで、なんでも担ぐのに7、80人も要るのだそうです。



高倉神社神輿

お断り：本稿に挿入した肖像画は、インターネットのグーグル画像検索から使用しました。

## IV 連絡事項

### ☆ 会員名簿の変更

現在発行している会員名簿の変更です。

#### ○ 指定代表者等の変更

頁	会社・団体名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
5	全農サイロ(株)	新潟支店支店長 秋 年 克 則	新潟支店営業部 浅 澤 直 樹
6	中部電力(株)	上越火力発電所所長 笠 井 啓 輔	上越火力発電所 技術課長 井 田 浩 文
9	(株)海	代表取締役社長 森 鐵 男	
13	日本原子力発電(株)	執行役員 敦賀発電所所長 坂 井 毅 志	敦賀発電所 総務室経理マネージャー 一 宮 利 明
14	舞鶴倉庫(株)	代表取締役社長 沼 田 重 昭	常務取締役 秋 江 恒 夫
15	但馬漁業協同組合	代表理事組合長 村 瀬 晴 好	参 事 磯 田 俊 一

#### ○ 代表者等の変更

頁	会社・団体名	代表者職氏名	担当者職氏名
19	東北電力(株)秋田火力発電所	所 長 大 槻 健 太 郎	総務課長 米 屋 聡 志
〃	東北電力(株)佐渡営業所	所 長 関 原 光 也	副所長 高 野 衛
20	北陸電力(株) 七尾大田火力発電所	所 長 近 谷 正 信	業務課副課長 東 雅 己
〃	中国電力(株)三隅発電所	発電所長 上 田 和 彦	総務課課長代理 大 畑 進

**「海の事故 なくす目くばり 気のくばり」**

**「救命具 必ずつけよう 冬の海」**

会 報 第 1 2 2 号

平成 30 年 1 月 発行

発 行 所 新潟市中央区竜が島 1 丁目 9 番 2 号

公益社団法人 日本海海難防止協会

〒 9 5 0 - 0 0 7 2

電 話 (025) 247-8531

F A X (025) 247-0316

E-mail [nikkaikb@poem.ocn.ne.jp](mailto:nikkaikb@poem.ocn.ne.jp)

URL <http://nikkaikb.com/>

印 刷 所 株式会社 ウィザップ

